

質 疑 回 答 書

「津屋崎幹線污水管渠改築工事（1工区）」への質問について、下記のとおり回答いたします。

	質 問 内 容	回 答
1	設計段階での資料について	上流人孔につきましては、3号マンホールで管底深が9.2mとなっております。 下流側の流入ピットにつきましては、管底深がGLから10.059mとなっております。 流入ピットの構造図については添付資料をご確認ください。 また、カメラ調査記録表を添付しておりますのでご確認ください。
	今回の設計において、ダンパー車の項目もあり、現地が水処理場に直結している観点から、設計当初の人孔及び管路のカメラ調査時の資料をいただきたい。	
2	流量について	実際の流量がわかる資料はありませんが、1日の流入ポンプの稼働状況から1時間当たりの流入量を平均すると約215m ³ /hとなります。平均値となりますので、実際の流量は少ない可能性もありますので参考として使用してください。
	設計に水替え工が含まれており、強力吸引車の設計も見込まれているが、どの程度の能力が必要な車両を用意するか不明なため、現地の流量がわかる資料をいただきたい。	